

第2回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議 会議録

日時：令和7年1月31日（金） 10:00～11:45

場所：久留米シティプラザ 大会議室3

○出席者 13名（内、代理出席者3名）

（有識者）

趙世晨委員（会長）、大森洋子委員、吉城秀治委員

（交通事業者）

清水信彦委員、大石一紀委員

（地元まちづくり団体）

稗島行雄委員、原誠委員

（関係行政機関）

金井仁志委員、財津憲史委員代理、牧野浩志委員、堤真一郎委員

（オブザーバー）

高橋大地オブザーバー委員代理、三重野直美オブザーバー委員代理

○議事

1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事

① 第1回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議 意見概要

② 西鉄久留米駅周辺整備構想（案）

4. その他

・次回の会議について

5. 閉会

1. 開会

牧野副市長あいさつ

本日は、年始のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。大変感謝しております。

昨年は、久留米市にとって3つの良いことがありました。

1点目は、これまでは5年連続で6回水害にあっていましたが、昨年は大きな水害がなく安心して過ごすことができました。これまで水害対策で大きな予算を国・県・市で連携して投じてきた結果が表れてきたと思っており、作った貯留施設が非常に活躍して水をしっかりとめたということで、市民の安全安心の確保がようやくできつつあると思います。

2点目は、久留米のスマートインターチェンジが決まり、交通の空白地帯であったところに新しい交通の拠点を作るプロジェクトが始動しているということで、大きな変革であったと思っています。

3点目は、西鉄久留米駅に「レイリア」がオープンしました。西口が明るくなり、お客様が大分増えたように思っています。西鉄久留米駅は、九州の中でも鉄道の乗降客数やバスの乗り換え客が非常に多く集まる一大拠点です。この拠点の構想を議論する場として、西鉄久留米駅の第2弾になる方向性を議論いただくということで、前回、皆様にはしっかり議論いただいたと思います。これについては、事務局の方でしっかり整理して、第2弾を打ち出すための構想案を作らせていただいていますので、忌憚のないご意見をいただきながら、第2弾、第3弾ということで、久留米の中心市街地の活性化というのは、次の発展のための核になると思っていますので、ぜひ議論をしっかりしていきながら方向性を見出していきたいと思っていますので、本日はよろしく願いいたします。

2. 委員紹介

3. 議事

事務局が一括して説明。

(会長)	事務局からの説明について、何かご意見やご感想があればお願いします。
(委員)	<p>2回目でご説明いただいたプランは、大変よくできていると拝見いたしました。特に、駅を起点に回遊する、駅が目的地ではなく、駅が発起点で周りに賑わいが広がっていくことが、久留米市全体のまちづくりにとって大事であることが、方針1・2で捉えられており建付けがいいと思いました。</p> <p>久留米に住んでいる人にとっての駅と、外から来られる方にとっての駅の視点を考える必要があると思っています。住んでいる人にとっては、久留米の中心地に行くための駅になります。今は少子化ですので、人口が自然に増えていくことは難しいですが、聞いたところによると、北九州市では差し引きではまだ増えていないものの、社会増が増えてきているようで、観光客やビジネスなど、外から来た人による賑わいが増えており、来ていただくことは、住んでいただくことと同様にまちの賑わいに貢献していくこととなります。まちの入り口としての西鉄久留米駅ですが、賑わいが駅で終わるのではなく、そこから久留米市のいたるところに足を運んでいただくため、回遊の仕組み、案内や情報発信が必要だと述べられておりました。いつも、どこも同じようなまちになっている傾向があると思っており、その方が開発のコストが安くなる、今はコスト高になって悩みは深いですが、やはり久留米ならではの、ここに行かなければいけないものがまちの中にできてくるといいと思います。</p> <p>西鉄久留米駅には東口と西口があり、JR久留米駅が西側にありますので、どちらかというとな人の目は西側に向きがちですが、東側には石橋文化センターや百年公園がありますので、そちらの方にも磨きをかけていただきたいです。</p> <p>駅だけでは終わらず、両側にはみ出していけるようにするには、交通のネットワークが必要になってきます。久留米市の都市交通マスタープランの目標年次が令和7年になっていると思うのですが、特に交通関係では2024年問題といって労働時間の規制がかかることによって、運転者不足に悩まされることとなります。経営環境も変わってきますので、交通マスタープランの見直しも併せて行っていただければと思います。公共交通を利用することで、渋滞も避けられますし、ウォーカブルなまちになれば歩いて回っていただき、道路整備も併せて行っていただければ全てが結びついていくと思います。</p> <p>西鉄久留米駅周辺の整備構想ですが、久留米全体の街につながっていくような、そういう視点で案を検討していただくとありがたいと思いました。</p>
(会長)	駅が起点になると回遊性が上がるということを非常に高く評価していただき、久留米ならではの独自性が大事だという意見でした。交通計画の目標年次について話がありましたが、いかがでしょうか。

(事務局)	<p>久留米市の都市交通マスタープランは、令和7年でいったん終了ということになっています。予定については、後ほど確認させていただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>交通だけでなく、まちづくりのマスタープランとも連携を取ってほしいです。</p>
(会長)	<p>委員から、波及効果が非常に大事である、駅で終わらずにまち全体につながることで、また最初に述べられた住民の視点と来街者の視点が必要という意見でした。</p>
(委員)	<p>前回から内容を見直していただき、東側の整備についての視点がないのではないかという意見に対して、今回東側にも触れていただいています。</p> <p>なかなか道路を拡幅することは難しいと思いますが、東側の歩道の狭さや景観が整っていないということについて、目標として書いて、回遊のしやすさを謳っておくことが大事なことだと思うので、もう少し踏み込んでいいのではないかと思います。天神町公園についても触れていただいています。西鉄久留米駅利用者がこの公園をどう使うのか、どういう賑わいを作るのかということについても、もう少し踏み込んでいただいた方が、もっとわかりやすく、目標も共有しやすくなるのではないかと感じた次第です。</p> <p>前から久留米は自転車の街と言われておりますが、なかなか道路整備が進まず、自転車が歩道を走って危ない、車道を走ると大型車が追い越せず渋滞の原因になる、といった問題があります。道路整備が実現しなければ、この構想は実現しないのではないかと感じている次第です。</p> <p>外部から来る方を考えると、デスティネーションイメージ、何を目的にどういうイメージで来ているか、期待を持ってきたのに、それに触れ合えなかったとなると、満足度が低くなります。久留米はどんなデスティネーションイメージを持っているのかいつも気になっている所です。ラーメンや焼き鳥、筑後川、高良山などは聞きますが、外部の観光客は久留米にどのようなイメージを持って何を目的に久留米に来ているのかを少しクリアにさせていただき、駅の中にもそれを活かしたものがあるといいのではと考えている次第です。</p>
(会長)	<p>もう少し具体的な公園の利用イメージがあるといいのではという意見と、自転車の走行についてどう考えるか、観光のイメージづくりが今後必要なのではないかという貴重な意見でした。ご指摘いただいた通り、久留米にはラーメンといったイメージもありますが、人によって印象がバラバラになっています。</p>
(事務局)	<p>「久留米＝○○」というのがはっきりしていないというのはよく言われ</p>

ます。例えば柳川といえはうなぎのせいろ蒸しなどはっきりしていますが、久留米は焼き鳥やラーメン、うどんなど食についてもいろいろなものがあり、観光では田主丸地区ではフルーツとかがあります。私の感想ですが、久留米城をもう少し活用できたかと考えておりますが、ご指摘の通り、久留米＝〇〇というのが固まっていないのが現状だと思っています。

(委員)

基本構想は、前回よりずいぶんアップデートしたという印象です。これをどう実現していくかという観点ですが、他の基本構想を見ると、実現体制、誰がどのようなことをやっていくか、どういうステイクホルダーが関わってくるのかという所まで言及されているところが結構あります。将来像は見えてきたところではありますが、それをどう実現していくかという基本構想も多い中、今回はその説明がなかったなので、可能であればあった方がいいのではないかと思います。

もう1点は簡単な所ですが、1ページ目に素晴らしい絵を描いていただいています、吹き出しがもう少しかっこよくなればいいと思いますので、検討していただければという所です。

もう1点は難しい所になり、2ページ目になりますけれども、1ページ目で点あるいは線のビジョンを示していただいたのですが、面としての空間ビジョンのイメージを、1ページ目のイラストを少し引いた形で、視覚的にこういう風になるといのがわかるような絵があるといいかなと思います。2ページの図も十分大事な絵ですが、あくまで二次元の話ですので、これを三次元にできるとより西鉄久留米駅を中心とした500m圏内が目指すビジョンがより伝わりやすくなるのかなと思ったところです。すごく難しい部分かと思いますが、ご検討いただければというところです。

(会長)

まずは簡単な方から、1ページ目について主旨は伝わっていると思いますので、ご検討いただければと思います。1点目は、実施体制でもし考えがあれば、現段階でも結構ですので、教えていただければと思います。3点目は、駅周辺全体のイメージがわかるようなイラストや鳥瞰図、あった方がいいですね。ご検討いただければと思います。実施体制についてはいかがでしょうか。

(事務局)

実施体制に当たるかどうかわかりませんが、この整備構想を作成する理由として、3ページ目に整備構想の位置付けという形で書かせていただいています。久留米市の総合計画が令和7年度までの計画となっておりますので、今、新しい総合計画を作成している途中でございます。そちらの方に、この整備構想をこれから反映させていき、その総合計画を基に市の事業を進めていくというような形になってきます。委員の言われた実現体制については、検討させていただきたいと思います。

(委員)

私は、どちらかといえば事業を進めていく側の担当をしているので、その視点で話をさせていただきます。14ページに「駅前や幹線道路におけ

る風格のある景観形成」、21ページに「耐震化不燃化による災害に強いまちなかの形成」とありますが、前の資料では無電柱化の話があったと思いますが、ぜひ記載しておいた方が、後々事業化するにあたって構想に載ってないという話にならないので、入れておいた方がいいと思います。

前回の将来像で、「ひと・もの・こと」という言葉が入っていたと思うのですが、今回は20ページの中央エリアに記載されています。前回は「ひと・もの・こと」の説明がありましたが、今回は消えている格好になりますので、捉え方によってはいろいろな捉え方ができるかと思いますので、今後パブコメ等をやる際には示しておいた方がよろしいのかなと思った次第です。

(会長) 事業推進の経験から、1つは景観に関連するもので、無電柱化の記述が前回はあったが今回なくなっているという指摘、もう1つは「ひと・もの・こと」について前回は説明があったが今回はなくなっており、その経緯や狙いも含めて、事務局からお願いいたします。

(事務局) 構成を変える中で変更した形になりますが、おっしゃる通りだと思いますので、盛り込んでいきたいと考えております。

(委員) 前日も言ったことで恐縮ですが、駅周辺の景観を整えるということが重要だと思います。18ページには、「インセンティブによるまちなか再生」ということで、容積率割増や高さ基準の特例承認が書いてありますが、加えて景観をコーディネートできるシステムを入れた方がいいのではないかと思います。景観の重点地区にするというのは前回言いましたが、そこまでは行かなくても駅周辺500mになるのか、通りごとになるのかわかりませんが、ある程度景観を整えることができるようなシステム、例えば、長崎駅では、ビルの所有者や事業主体が違ってもある程度景観が統一されており、それは市の中で整えていくシステムを作っているからだと思いますので、ある程度目指す景観をはっきりさせて、景観を整えるシステムを作った方がいいのではと考えています。

(会長) 駅周辺、駅そのもの、あるいは通りの景観について、私も同感で、仕事の関係でいろいろな所に行きますが、ほとんど公共交通を使っています。駅を降りて見える景色が非常に印象に残り、その日の気分も変わるというのは言い過ぎかもしれませんが、ぜひ今のコメントを大事にいただければと思います。

(委員) 9ページの2つのイメージ図が一致していません。普通、路線バスでは椅子に座って室内で待つというより立って待つイメージで、西鉄天神や博多駅のバスターミナルもそうなっているのですが、絵では座って待っていて、バスの案内もなくどのバスに乗ればいいのかかわからないと思います。室内に待合空間があるのはよいのですが、自分で目的をもってどこのバス

乗り場に行くべきかわかっていないといけない形で、集積すればするほどこのバス停に行けばいいかわからなくなってしまうので、変えてもいいのかなという印象でした。

(会長) ご指摘の通り、イメージがダイレクトに伝わるような図がいいかもしれないですね。

(事務局) 貴重なご意見なので、対応したいと思います。左側のバス乗降場のイメージは、歩行者と立体的に分離するという意味合いで作成しており、乗降場をクローズアップしているのではなく、2層になっているのを表現しています。待合空間については、現状多くの方がバスを使っており、久留米の夏は暑く冬は寒いという環境の中長い列ができていますので、なんとか環境の整備ができればなということで、このイメージ下の天神バスターミナルなど、高速バスと路線バスは少し違いますが、参考に載せさせていただいています。こういうイメージが湧きやすくなるよう変えられれば変えたいと思います。

(委員) 19ページに新古賀クリニックさんの件が書いてあります。耐震性で問題があり、建て替えが必要という課題がありましたが、その中で久留米市と協力されて、公園を活用したエリアづくりを進めています。

本当に安心して心優しく住むまちを作るのはもちろん大前提で、住んでいる方々からすれば当然そういうまちを目指していきたい。しかし、それを実現するためには、民間の活力・投資が起こってくるようなまちづくりの方向性も一緒に検討が必要で、行政だけ、こういうプロジェクトだけではできない部分も含めて活気が出てくると思いますので、構想を作る段階で、今後どういうまちにしたいかを示すべきだと思います。

久留米って何のまちなのということに対して、我々はこれからのメッセージを発信すべきだと思います。今までは、餅やラーメンなどいろいろなものをイベントでもやってきましたが、そうではなくて、これからこういうまちにしたいから、福岡からでも久留米に移り住んでほしい、また、住んでも子育てがあり活気があり、こんなにもいい環境がありますよとなるべきです。例えば、東京の立川駅は、昔は普通の駅でしたが、20年くらい前に少し変わり、現在では新宿から立川に人が行くような駅になっています。これがどういう風を実現しているかはまだ勉強不足ですが、そういったところも情報として共有しながら、昔から西鉄さんがおっしゃっていますが、久留米から福岡に行く乗降客は多いが、福岡から久留米に来られる乗客は少ないです。そういう流れも本当に大事な交通網になりますので、観光も含めてどういうものを打ち出していくかという、明確なキャッチフレーズを合わせて考えることも必要になります。そのためには、やはり民間の仕組みを、どういう風に誘致していくのかわかりませんが、考える必要があります。岩田屋新館が閉じ、リベールとなりましたが、その後いろいろな企業がやってきたかというところではなくて、久留米で育った会

	<p>社が入りました。1つのエリア作りとしては成功だと思いますが、ここに外部からも店を出そうと思える場所になることが重要で、立川でもこんな店が立川にあるのだなという店が増えています。</p>
(会長)	<p>中心となるお話は、民間の活力をどういう風に活用していくかということで、地元も結構ですが、外からの投資やお店が増えることが重要ではないかということと、久留米の魅力についてどうやって発信していくかということでした。</p>
(事務局)	<p>委員のご意見が素直な地元のご意見だと思っています。この課題を解決するために、人を増やす、人が増えると魅力的な街になり、民間投資も得られるのではないかと考えております。ご意見を参考にしながら、考えていきたいと思っています。</p>
(会長)	<p>来街者や住民にとっての魅力と、お店や投資家など民間にとっての魅力づくりが目指すべきまちづくりではないかという意見だと思います。</p>
(委員)	<p>半径500メートルの構想は、素晴らしいものができていると思っております。その中心にあります商店街ですが、いろいろな努力の積み重ねをやっているところです。11ページに「雑然とした景観」とありますが、これは昔からの課題で、西鉄久留米駅を出て、信号もしくは地下道を渡ることになるのですが、地下道は危ない雰囲気になっており、信号も隙間を利用して信号待ちしている状況です。以前からご意見があったのですが、鉄道から2階で降りてそのまま道路を横断して商店街に降りてくるという整備や、それに準じて近隣のビル等の景観を統一した形を、行政の指導などで進めていただきたいと思います。</p> <p>久留米に外部から人を呼ぶとなると、商店街というよりも、周辺になります。例えば水天宮があり、梅林寺があり、素晴らしい篠山城もありますが、地元の人間ですら篠山城に行ったことない、見たこともない人もいます。ちょっと行ってみると、すごい資源だなと、小さいころから見ているが、さらに感動するような面もありますし、高良大社や大本山など、いろいろな歴史的なものが随分あると思います。また寺町も、祭日や日曜日に通ってみると、よそから来られた方がお寺巡りをされています。そういった外部からの集客事業と、それを中心部に持ってくるいろんな公共交通機関を使っていただく流れも一緒に作っていただきたいと思います。このシティプラザも、中心部にこんな立派な施設ができて、最近ではイベント等も活発に行っています。イベントがある時には、店舗の営業に繋がるかもしれませんが、終わったら一斉に帰る印象です。西鉄から降りてもすぐ、シティプラザの玄関のような雰囲気作りを含めて、整備等を色々考えていただきたいと思いますと感じております。</p>
(会長)	<p>主に3点のご意見かと思っています。1つは、駅と商店街の歩行者ネットワ</p>

	<p>ークのあり方についてでした。2点目は、商店街のみならず、周辺の歴史的な建築物や観光資源がたくさんございますが、そのPRもぜひということでした。最後は、玄関口になるようにということでした。</p>
(事務局)	<p>駅と商店街の繋がりということで、動線が分かりにくく、危ないという状態になっておりますので、その辺も検討項目に含めてしっかりと改善できるような策を練っていきたいと思います。</p>
(委員)	<p>前回の会議でも要望しましたが、千本近いバスが西口のバスターミナルに接続しており、これによる渋滞も発生しているという中で、東口にもバスの寄付きが可能になると、渋滞緩和やバスの遅延が縮小できると思います。</p> <p>自動車中心から、人中心のまちに転換し、賑わいの創出を図ることで、公共交通のみならず、一般車の流入もかなり増加することが想定されます。その中で、渋滞緩和として、国道3号・322号の課題である渋滞解消の取り組みも継続して実施したほうが良いと思います。</p> <p>13ページに環状道路の記載がされているが、これがどの程度国道3号の渋滞や中心地の流入量の緩和につながるかわからないところがあるが、整備時期等が記載されていると、他事業者がこれに合わせたダイヤ改正等を計画的に実施できると感じました。</p>
(会長)	<p>駅周辺の交通混雑について、バス停留所の整備に関する事、一般車の流入対策としての道路拡幅、環状道路に関しての言及でした。</p>
(事務局)	<p>この構想自体は、将来的なものを含んでおり、現在、国で外環状道路等を整備していただいています。これにより中心部の一般車の流入をかなり減らせるのではないかと考えています。そういう中で、将来の交通を見ながら国道3号の拡幅等を検討すべきではないかと考えています。</p> <p>バス乗降場については、東口も検討していきたいと考えています。</p>
(委員)	<p>福岡県の中でも久留米市の交通規制は群を抜いて多い状況です。西鉄久留米駅の周辺も一方通行等の交通規制が多く、自動車にとって通行しにくいイメージがあります。</p> <p>歩行者や自転車を中心としつつも、自動車が通行でき、最低限離合ができるような交通整備が必要ではないかと感じています。</p> <p>ラウンドアバウトは、九州では熊本などに整備が進んでいますが、福岡県では、北九州市八幡東区・宗像市・八女のまだ3ヵ所しか整備されていません。信号機を設置しないため、災害に強く、中心部の広場の活用や景観上も見通しの良い交差点になるため、整備を推奨しているところです。明治通り等の交通量の多い道路では、5車線程度が必要となるため、現状の西鉄久留米駅周辺では、現実的ではないと思われますが、駅の裏などでは導入も考えられるのではないかと思います。</p>

	<p>自転車通行帯について、まちなかであると路上駐車の原因にもなるため、対策が必要だと思えます。可能であれば、自転車通行帯ではなく、自転車専用道として、歩道と車道と自転車道を完全に分離の方が安全であるため、こういった整備手法も含めて今後検討してほしいです。</p>
(会長)	<p>久留米市は交通規制が多いということ、歩行者・自転車も大事ではあるが自動車についても検討すべきだということ、その中で信号等の在り方について、アドバイスいただいています。</p> <p>加えて、自転車通行に関して、自転車専用道路等について、意見をいただいています。</p>
(事務局)	<p>久留米は、道が狭く、歩行者空間を確保しようとする一方通行にしないといけないという現状もあります。</p> <p>ラウンドアバウトについては、将来的に、環状道路等の整備により中心部の通行車両を減少させ、まちなかの交通量が減少したところを前提にはありますが、整備を検討していきたいと考えています。</p>
(委員)	<p>地元として、久留米にはラーメンや焼き鳥などがありますが、なかなか観光やビジネスにはつなげていないというところはあるかもしれないと思います。</p> <p>久留米の人は、食事に行こうとなると、ラーメンか夜は焼き鳥になる。中心市街地は、B級グルメのまちと言われるように、手軽に夜を家族と楽しめるということで、熱烈なファンがいるのではないかと思います。</p> <p>自分たちが好きなまちがここにあり、自分たちが好きだからまちなかに集まっているという感覚があり、これは非常によいことではあると思いますが、多様な価値観やライフスタイルの方々に、魅力を感じてもらおうという感覚が少し希薄であると感じています。</p> <p>これからは、久留米の魅力を市民として発信していこうというように変わっていきながら、歓迎していくということが必要になると思います。皆様で構想をつくりながら進めていき、よいまちにしていきたいと思えます。</p>
(会長)	<p>久留米の食文化というところであったかと思いますが、大学にいと、食に対して興味を持っている人が昔に比べかなり増えてきているような気がしています。最近、いろいろな制限もあり、飲み会などに行けなかったこともあると思いますが、ラーメン一杯のために遠方に行くということも聞いています。ぜひ、食を発信し、活かして行ってほしいです。</p>
(委員)	<p>最近、福岡市の地域の方々と話をする機会がありましたが、実は車社会であることに気づきました。バスや地下鉄もあり、便利なまちだと思えていましたが、実は車でまちなかに来られている方も多くいます。</p> <p>環状道路等で通過交通を排除し、まちなかをウォークブルで公共交通主体のまちにするという取り組みは、賛成であり、このまま進めて行ってほ</p>

しいと思います。

一方で、車に慣れている人をどのようにまちなかに誘導していくかということが、このような整備をした結果としてまちなかが元気になるための鍵になるのではないかと思います。

休日には、久留米も国道210号沿いの大きなショッピングモールに人が多く集まっていると聞いています。車から公共交通に転換させる取組も進めていかないといけないのではないかと感じています。

まちをハード的に人が歩きやすく、集いやすい場所にするのみで、人が本当に集まってくるかということに疑問を感じているため、こうした観点も加えながら、良い構想にしてほしいと思います。

(会長)

非常に重要な指摘であると思います。ウォークブルや公共交通も重要ではありますが、これまでの都市計画の失敗として、どちらかに一辺倒になっていると思います。車でのスムーズで安全快適な移動についても配慮しながら、進めていかなければいけないという意見でした。

(委員)

今回の駅周辺の範囲内に税務署等の国管轄施設が立地しています。10年前ぐらいに、コンパクトシティとあわせて税務署を建て替え、駅前に移転できないかと財務支局に話に行きましたが、久留米市からの話でないと対応が難しいということでした。

税務署等は、広い敷地を有しているため、今後の撤廃等を検討するような余地があれば、市長・副市長を含め頭の片隅に入れておいていただければと思います。当時の課題を共有させていただきました。

(委員)

国土交通省の所有する施設ではないため、移転しますということを行うことはできませんが、今後、税務署等に会う機会があれば、伝えたいと思います。また、このような会議の中で、議論が高まれば、久留米市から要望していただくことが良いのではないかと思います。

(委員)

まずは、大きな基本方針については、概ねこの方向でよいのではないかという意見を全体的にいただいたかと思います。

まず、10ページについて、周遊しやすい交通網の形成にチャリチャリ等が掲載されていますが、全国的には都心の循環バスやトランジットモール等のチャレンジが行われています。そういう事例もあるとパブリックコメントを頂く際に、市民の方にアイデアとして知っていただくことができるため、追加していただきたいと思います。

12ページは、議論いただいたところだと思いますが、歩きたくなるネットワークについて、3D化して全体がわかるパースを追加してはどうかというような指摘をいただいています。

一番のポイントは、来訪者に対して、どのようにわかりやすく誘導していくのか、特に、ほとめき商店街が一番大事なエリアだと思われるため、西口に関しては、商店街への誘導を重点的に記載していくことが重要だと

思います。

東口に関しては、天神町公園は内環状につながるため、これをつなげたネットワークにしていきながら、今まで分断されていたエリアがつながっていくと思います。JAや税務署等があるため、東口の動きが見えてくるのではないのでしょうか。こういう動線がつながることは、大きな変化を促すことになります。東口も重要なエリアであり、特に市場や石橋文化センター等があり、観光も含め重要なエリアであるため、将来的につながるような表現をしてほしいと思います。施設も古いため、区画整理や市街地再開発事業の可能性のあるエリアかもしれません。特にまちへの誘導という意味で、どのように誘導をしていくのかが重要になると思います。立川駅ではペDESTリアンデッキを整備し、モノレールの延伸が活性化のポイントになっているようです。

西鉄久留米駅周辺も大きな交通量でまちが分断されている実態があるため、分離をするのか、車の交通量を減らし人の動線を1階にするのか等の話になると思いますので、今後、その辺が整備されるとよいと思います。

13ページについては、ネットワークや渋滞ポイントの問題について意見でした。ネットワークの図に渋滞箇所を表記してもよいと思います。この3環状が整備されるとダイナミックに変わっていきます。まだ、詳細な計算等は実施できていませんが、大きく渋滞ポイントが変わることになると思います。久留米にとって、大きなまちの骨格がようやく見えてきたという段階にあるということを知っていただくという意味では、重要であると思います。この中に、渋滞ポイントがある部分が迂回できることになるため、こうしたところがわかるとよいと思います。

15ページの道路空間や低未利用地を活かした賑わい・憩いの場の創出について、ポートランドの事例があります。地区の真ん中にパイオニアスクエアという公園があり、その周りにティファニー等が出店していますが、その上が駐車場になっています。ポートランドの良さは、地区協定等により、駐車場等を整備しても良いが、1階は店舗にきなさいというルールが定められている点であり、これにより1階部分を歩く人にとっては、店舗が続いているが、自動車利用の方々も見捨てていないまちが形成されています。

久留米市においてもこうした協定を結び、かつ1階のシャッターを降ろさない等を定めるなど、様々な補助を活用しながら、まちを明るくし、歩きやすく、歩いて楽しい空間づくりを行う必要があります。店舗が一番歩いて楽しいをつくるための基本であるため、そのように事例をわかりやすく提示していただきたいと思います。

21ページの災害時の内容もありましたが、東日本大震災の時に渋谷駅が大変なことになっています。西鉄久留米駅周辺も、土曜の夜市や花火大会の時など、多くの人が集まっています。このため、歩行動線のサーキュレーションということで、流しをしっかりとっていくということを記載しておいたほうがよいと思います。

以前、韓国で雑踏事故がありました。韓国調査団と話したときに、歩

行誘導が乱雑だと錯綜するということでした。例えば、日本では、左側通行であるため、歩行者を左側通行で誘導していますが、エスカレーターが逆に右側で登らせたりすると危険となるため、左側通行で徹底するといったような記載があると良いのではないかと思います。

22～23ページの観光について、デスティネーションイメージや良い観光素材はあること等の意見をいただきました。ここについては、市の観光戦略も関わってくるが、まだ照準が定まっていない部分があり、来訪者が何を求めて久留米市に来訪しているのか等は、引き続き研究しながら、方向性の中に入れていければと思います。

同様に繊維産業が盛んであった倉敷市では、ジーンズストリートなど伝統的な産業をまちづくりにつなげて、観光のデスティネーションにしているエリアも出始めています。

こうしたシティプロモーションとともに、インフォメーション機能の強化が不可欠になると思われます。趙会長のゼミの学生たちも駅に商店街のマップがないなどの意見をいただきました。大事な情報をどこにどのように表示するのか、また、なにを表示する必要があるのかといったインフォメーション機能の強化やデスティネーションイメージをしっかりと議論していくということを記載しておいてもよいと思います。

14ページの景観に関しても指摘をいただいておりますが、風格のあるという表記が難しいため、こうした点を勉強していかないといけません。恐らく、シティプラザ建築の際にデザインはだいぶ議論されているかと思えます。久留米の歴史を紐解くと、レンガがあり、まちなかに多用されています。このため、シティプラザの外壁にもレンガが使用されています。かつ、ストリートファニチャーにもレンガが使用されています。このような必要な景観要素を大事に、駅前前の景観形成をしていかないといけないと思います。

アメリカでは、トラディショナルネイバーフッドデベロップメントというのがブームになっており、伝統的な景観デザインを町の中に取り込もうとすると、自分の好きな伝統的な町であると錯覚するようです。このため、久留米が大事にしている、これまでに培ってきた伝統的な景観形成の要素をしっかりとまちに取り込んでいく必要があります。久留米では、おそらくレンガや木材などがあります。石橋正二郎氏が、非常に木にこだわり、木を敷地内に植えられているようです。ブリジストンの国分寺工場も木が多く、写真のメッカにもなっています。こうした部分を伝統としてどのようにつなげていくのかが重要になります。駅から降りてきた際のファーストインパクトが、このまち全体を印象づける最初の大事な要素であるため、これをどのように推進していくのかが重要になります。風格のあるという表記で逃げずに、久留米の伝統的なデザイン要素等を整理できると充実してくると思います。

(会長)	委員の意見をまとめていただきながら、具体的かつ明確な変更内容を明示いただき、ありがとうございます。事務局には、この内容で修正を進めていただければと思います。
------	--

4. その他

事務局より、次回の会議に関する連絡。

次回の会議は2月下旬～3月上旬頃に書面での開催を予定。

5. 閉会

堤都市づくり推進担当部長あいさつ

本日は第二回の会議にお集まりいただき、ありがとうございます。活発なご意見やご議論をいただき、感謝申し上げます。次回は、書面開催となりますが、引き続き、ご提案いただき、より充実した整備構想案にしていきたいと思ひます。

本日は、ありがとうございました。